

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 1 月 10 日

事業所名 寺子屋アップルキッズ

チェック項目	はい	どちらとも 書えない	いいえ	工夫している点や改善すべき課題・目標
利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			
職員の配置数は適切である	2	2		
事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			
保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			
この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1		
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1		10/5に実地指導があり改善点等11月中に対応した
職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			
活動プログラムの立案をチームで行っている	4			
活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			
平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			
子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成している	4			
支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	2	1	
支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2		退勤時間が異なる為その日に振り返りは難しい時もあるが、次回利用までに話し合いをしている
日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			
定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			
ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	3	1		
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1		
学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4			
医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	1		主治医に直接ではなく、家族様を通して行っている
就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	2		
学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4			学校の先生とも丁寧に情報を共有し話し合っている
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	1		

保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3		
運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			
保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			送迎時にご家庭での様子を伺い、助言を行っている また、スタッフとも共有している
子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	1		
個人情報に十分注意している	4			
障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	1		
緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4			
非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	1	1	
食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			
ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1		